

新型コロナウイルス感染防止の取り組みと利用者への対応について
株式会社セフニア 福祉事業部

【消毒方法】

- 1日3～4回（朝・昼食前・昼食後・夕方）、フロア内消毒と机・手すり・ドアノブ・椅子等の手に触れる場所の消毒を実施。消毒は現在も実施中。
キッズは入浴室もあるので、その部屋も掃除と消毒実施。
消毒清掃を実施したらチェック表に記入。
- 職員・利用者には訪室前と外からフロアへ入る時は手指消毒実施。
衣類は上着の消毒を実施。着用している衣類は、中には拒否をする利用者もいるため実施できる利用者さんに限り実施。
- 送迎車も送迎終了後は車内消毒を実施。

【検温方法】

- 1日2回(朝・昼)実施。キッズは3回(朝・昼・夕方)実施。検温をしたらチェック表に記載。
- 基本的に平熱が高めの利用者が数名いたので、その場合は額の体温を基準として検温を行った。また通所利用中に37度台が続く場合や風邪症状が出た場合は帰宅していただく対応をとった。

【換気方法】

- 生活介護九条・煉瓦：入口ドア開放、窓5センチ以上開ける。
- キッズ：シャッター・室内窓5センチ開ける。換気扇で空気入れ替え。
窓は閉める子もいたので、窓を固定して閉めないようにした。
- 生活介護本体：窓5センチ以上開ける。換気扇で空気入れ替え。
- 2階事務所：窓開けと換気扇で空気入れ替え。

【各部署の利用者の様子】

①セフニアキッズの場合

- 2月29日～5月末まで約3カ月、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、大阪市内の学校・幼稚園が臨時休校になった。休校中は基本開所。
- 開所時間は2月29日～4月7日までは午前から開所。緊急事態宣言発令後の4月8日～5月29日までは11時～18時。
時間変更の理由として、「感染症対策強化としてキッズフロア内の消毒を徹底する」「職員の感染を避けるため、職員時差出勤を行う」の2点。利用している児童の保護者からは了承を得ている。
- 児童が外に出られないことで心身不安定が起きる方もいるので、午後に時間を決めて散歩へ行く対応をとった。
- 緊急事態宣言発令後は1か月間自粛される児童がいたが、現在は利用再開している。現在も利用自粛している児童が1名いるが、8月からしばらく長期休暇のみ利用再開の予定。

②生活介護九条の場合

- 利用者はほとんど休まず利用していたが、1名だけコロナ警戒し4月～5月の1カ月は自宅待機。途中で体調不良になることもあまりなかった。
- 密にならないように座席配置を工夫。利用者同士の距離をなるべく空けるように座ってもらった。
- コロナの影響で予定変更が多く、不安定やパニックになる方も多かった。短時間で散歩に行く等の気分転換を入れながら過ごしてもらった。
- 体温計が不足し、購入も困難だったため、他部署から体温計を借りて検温を行っていた。

③生活介護本体の場合

- 緊急事態宣言発令後の約1か月間、2名利用自粛者あり。そのほかの利用者はほとんど休まず利用してくれた。
- 自粛者への対応は、1名は事業所近くにあるグループホームに住んでいたため、週1度職員が訪問して健康状態等聞き取りを実施。課題を本人に渡して次回訪問時までに取り組んでもらうようにしていた。
もう1名はご家族のほうに健康状態の聞き取り実施。

④ワーク煉瓦の場合

- 緊急事態宣言発令後、自宅待機される利用者さんについては、スタッフが定期的に健康状態を電話等で聞き取りを行った。通所できるかたは煉瓦まで通ってもらい、課題を受け取って自宅にて取り組み。次の日に来て提出、次の課題を受け取る。
- 仕事はコロナの影響を受けてほとんど無し。あっても量が少なかった。仕事が全くない時はDVD鑑賞や塗り絵等を行った。

【その他】

3月頃からセフニアで感染拡大防止対策を作り、「ウイルスを入れさせない、感染させない」ことを全職員が意識をもち、いつこれが終息するかわからないなかで、現在も取り組んでいる。利用者はコロナの影響をいつまでか見通しが立てずに不安定になることが続き、職員も自身と利用者の体調管理を行いながら、不安定になっている利用者のフォローも続けているので、つらいところは色々ある。
それまでは支援者である職員が、心身ともに調子を整えて今後も業務・支援を行えるようにしていけたらと考えている。